



身延小だより

身延町立身延小学校 TEL0556-62-0066
令和元年11月18日 編集: 校長 佐野三代司
学校の理念「すべての子どもに笑顔あふれる学校をつくる」



充実の秋を迎えて

～町15周年記念コンサートに参加しました～



11月も半ばを迎え、だいぶ秋も深まってきました。私の通勤路である富士川沿いの山々の木々の葉も思い思いに色づき、美しい季節です。正面玄関前の桜の葉もすっかり染まり、風が吹くたび落ちていきます。秋は駆け足で過ぎていきそうです。本校は、充実の秋を迎え、児童が学習活動に勤しんでいます。15日(金)には、6年生が中心となり、全校で落ち葉はきをしました。朝の冷たい空気の中、みんなで力を合わせてあっという間にきれいにすることができました。



10月26日、身延町15周年記念コンサートに本校5・6年生が出演しました。総合文化会館で開かれた佐々木恵梨さんのコンサートのフィナーレで、今回作られた町の歌「おかえりなさい少年たちよ」を佐々木さんと一緒に歌わせていただく機会をいただいたのです。本校元校長、山田勇先生にご指導いただきながら、本番に向けて練習に取り組んできました。



本番当日、リハーサルこそ緊張した面持ちが感じられた子どもたちでしたが、本番では堂々とステージに立ち、澄んだ歌声で歌うことができました。「子どもたちの歌声、感動しました。」と会場の方からもお褒めの言葉をいただき、子どもたちの表情も充実感にあふれていました。大勢の観客の方を前にステージに立って歌声を披露できたことは、めったにない機会ですし、今回のことが私たちの町である「ふるさと身延」を大切に思う気持ちに繋がれば、大きな収穫となると思います。当日は土曜日の夜のため、保護者の方に児童の送迎をお願いしました。ご協力ありがとうございました。

1年生・2年生

「おまつり」で楽しい時間を過ごしました

生活科の学習の一環で、2年生がお祭りを企画・運営をし、1年生と大野山保育園年長組さんを招待しました。13日(水)体育館で「2年生まつり」が開かれました。2年生はかねてから準備を進め、この日をたいへん楽しみにしていたようです。「子どもみこし」を披露したり、「パプリカ」を踊ったり、お店を出したりと大活躍でした。自分たちが計画・制作し、招待した1年生や年長さんと一緒に「おまつり」を楽しむことができました。招待を受けた1年生も、お店を巡り、楽しい時間を過ごして、来年は「自分たちもやってみたい」という期待を膨らませていました。ご都合のつくご家庭の方々には応援に来ていただきました。ありがとうございました。



3年生「あけぼの大豆」枝豆を収穫できました

1学期から総合的な学習の時間に栽培をしているあけぼの大豆が収穫の時期を迎えました。この日は、あけぼの大豆について教えていただいている町おこし協力隊の小林さんに指導してもらいながら、栽培している大豆の半分を、枝豆として収穫しました。丸々と膨らんだ枝豆がたくさんとれ、茹でておいしく食べることができました。残り半分は大豆として収穫するそうです。3年生は、このほか「ゆばの里」も見学し、湯葉作りにもチャレンジしました。地域に根ざした学習を進めています。



3・4年生 スケート教室に行ってきました

11月7日(木)に、3・4年生が冬のスポーツ、スケートを小瀬スポーツ公園アイスアリーナで体験してきました。「スケートは初めて」という子が何人もいましたが、元気いっぱいがんばりました。最初はリンクの壁(手すり)から離れられなかった子どもたちも、午後には楽しそうにリンクの上を滑っていました。ウインタースポーツの代表であるスケートにふれる、良い機会になったことと思います。1月には、5・6年生がスキー教室に出かけます。



4・5・6年生 平和集会 「戦争・平和・未来」を考えました

10月30日には、昨年度に引き続き、本町角打在住の山本晴美さんを講師にお迎えし、「戦争と平和」について考える平和集会を実施しました。今年のテーマは、広島に投下された原子爆弾について学ぶことです。山本さんは、当時小学生で、原爆によって家族を失った男性に丁寧に聞き取りを行い、その内容を歌語り「広島一すずめー」に構成されました。原爆が投下された広島の悲惨な状況や、家族を失った悲しみ、つらさについて、心に響く歌と語りで伝えていただきました。松村誠さんの映像・音響の効果も、子どもたちの集中を高めていたようで、1時間を越えるプログラムでしたが、子どもたちは真剣なまなざしで最後まで聴き入っていました。集会後、子どもたちは、「今日学んだこと、原爆のことをいろいろな人に伝えてあげたい。」「今、私が平和に暮らせていることをありがたく思いたいと思います。」「未来をつくるのは私たちだから、大人になっても戦争の恐ろしさは忘れないようにしたい。」と、感想を記していました。



4・5・6年生 絵本「笑顔くれた木喰さん」読み聞かせ

この度、町の生涯学習課で作成した絵本「笑顔くれた木喰さん」を読み聞かせしていただく機会がありました。4～6年生を対象に読んでくださったのは、本町飯富在住の古屋重子さんです。木喰上人の、ノミを打つ音を歌うように読む古屋さんの読み聞かせに、子どもたちは聴き入っていました。



今月27日(水)は、授業参観・PTA 学習会・学年PTA があります。

PTA 学習会では、山梨大学の栗田真司先生をお招きし、「子どもの心を育てるコミュニケーション」と題してお話ししていただきます。子どもの自己肯定感を高め、やる気を引き出す親子の関わり方について、参考になるお話です。

お忙しい中ですが、ご参加どうぞよろしくお願ひいたします。